

令和7年8月24日(日)

千葉ポートタワー



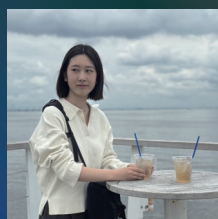
第四回 埋立地シンポジウム

15時30分開場～18時30分まで 入場無料

第一部 【15時45分～16時30分】 1階ステージ

『思索(スペキュレイティブ)は埋立地の未来を描くのか？』

～千葉の埋立地で展開されるローカルなまちづくり実践～



大田 黒 滲

2003年生まれ。生粋の埋立地育ちであり、埋立地歴は今年で22年になる。磯辺第二小学校(現在は廃校)、稲毛附属中学校、稲毛高校を経て、千葉大学を卒業。

大学在学中、コロナ禍により地域の空き家や祭りの減少という現実と直面。埋立地の未来に漠然とした不安を抱えていた。その後、ちば文化センター刊『週刊埋立地』との出会いを契機に埋立地に熱い思いを持ち、未来を描く様々な人々の存在を知る。卒業論文では埋立地で生まれ、暮らす人々のインタビューから、埋立地で起こりつつあるソフトなまちづくりに迫った。彼らはそのようなまちづくりを通して、どのような未来を描いているのだろうか。

第二部 【16時45分～17時30分】 1階ステージ

『さがそう、われらの生活遺産』

第二副都心



アーティストの春木聡と東條陽太を中心としたプロジェクト／アーティストコレクティブ。「大都市の周辺部に発達し、都心の機能の一部を分担する副次的な中心地区」を指す「副都心」。その先にある第二の副都心の可能性を表現の中で試みる。今年度、千葉国際芸術祭に参加し、歴史調査ツアーをはじめとして海浜地区を中心に千葉市の生活遺産を掘り起こす取り組みを展開中。



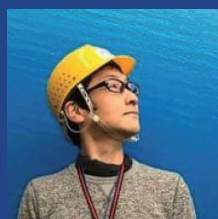
千葉国際芸術祭 2025
Chiba City Arts Triennale 2025
ちから、ひろく。

第三部 4階展望室【18時00分～】 (※タワー展望室への入館料金がかかります)

『再び始まる埋め立て。その先に見える千葉港の景色とは。』

毎年大好評。工場散歩人の八巻慎太郎氏による千葉港の港湾レクチャーを行います。

千葉港夜景クルーズの監修を務めた八巻氏の、マニアックかつ分かりやすいトークをお楽しみください！



八巻 慎太郎 (工場散歩人)

千葉大学在学中より工業地帯の景観をめぐり始める。以降、工場散歩人として各種メディアでの発信をはじめ、工場クルーズやツアーの企画に携わる。モットーは「五感で感じる」。そのため、写真等のアウトプットが少ないのが悩みの種。近頃は刷り込み活動の一環として、我が子らを工場散歩へ連れ出す日々を過ごしている。

主催：市民団体 ちば文化センター
(お問合せ：ccc@chibaminato.jp)

協力：千葉ポートタワー



■司会・進行

神作 光孝 (ちば文化センター センター長)

東 健一 (ちば文化センター 副センター長)

1階ステージ前では
千葉のダークスポットTシャツ等
ちば文化センターグッズ物販も！

